

学校運営協議会会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 加納高等学校 学校運営協議会（ゆめ会議かのう）（第2回）
- 2 開催日時 令和6年10月23日（水） 10：30～12：00
- 3 開催場所 岐阜県図書館 第1研修室
- 4 参加者 会長 高橋 利行 池田町教育長
副会長 富樫 幸一 岐阜大学名誉教授
委員 小島 紀夫 （公財）岐阜県教育文化財団総合プロデューサー兼支配人
杉本 昭一 アデコ株式会社ソリューションセールス事業部マネージャー
平木 一弘 加納西自治会連合会代表
水野 律子 加納まちづくり会会長
和智 陽子 PTA 副会長

学校側	高橋 宗彦	校長
	向田 富紀子	教頭
	衣斐 恵美子	事務部長
	藤田 英博	ゆめ加納企画局長
	林 圭子	教務主任

5 会議の概要

(1) 第60回加納高等学校美術科卒展の参観

(2) 「スクール・ミッション」の策定について（協議事項）

意見1：加納高校と記してなくても、加納高校と分かるものがよい。

意見2：3学科、学問と芸術の融合と加納高校らしい言葉があるが、実態としての交流があるのか。

⇒日常的な交流があるわけではない。行事で一緒になる程度、授業の交流はない。

意見3：3案とも人材を育成すると言いきっている教員目線の表現に感じる。将来の目標をあらわすものとして柔軟な表現のほうがよいのではないか。また、芸術は重要な要素で、文化が人、地域のつながりをつくり、生きる力となることから重点的に扱ってほしい。

意見4：高校は人生のなかで通過地点の3年間を過ごすことになる。そのなかでいろいろ主体的に自分探しが可能である高校であってほしい。また、3学科の日常的な交流はなくても、普通科の生徒はふだんの音美科をみて十分に刺激を受けている。

意見5：3案ともに共通する語句がみられるので、3案を統合することはできないか。

⇒県教委からある程度の書式が提示されており、分量として統合することは難しい。

意見6：箇条書きのほうが、シンプルで分かりやすい。

⇒県教委からある程度の書式が提示されており、箇条書きにするのは難しい。

意見7：案2・3はどこの学校でもありそうな表現のため、案1のほうがよい。幅広い教養と記されているが、教養の定義、幅広いとはいえ対象が明らかになっていない。もう少し明確にするとよい。

(3) 新たなカリキュラム編成について（報告）

現在検討中の新たな新しいカリキュラムの進捗状況について報告した。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会での意見を踏まえて、学校でスクール・ミッション（案）を修正し、第3回学校運営協議会でスクールミッション（案）を提出して、決定する。



第60回加納高等学校美術科卒展参観の様子